

図書館だより

発行 多可町図書館
〒679-1133
多可郡多可町中区糺屋 434-11
TEL 0795(32)5170
FAX 0795(32)5171
<http://www.library.taka.hyogo.jp/>

ことば 言の葉だより

おとなは、だれも、はじめは子どもだった
サン＝テグジュペリ 編

心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ。かんじんなことは、目に見えないんだよ(中略)人間っていうものはこの大切なことをわすれてるんだよ。

— 『星の王子さま』より —

『星の王子さま』は1943年に出版されて以来、様々な国や地域で翻訳され読み継がれてきました。その作者であるサン＝テグジュペリは1900年にフランスの商業都市リヨンに生を受けます。3歳の時父親が急逝しますが、大叔母の庇護のもとで窮することもなく生活を送り、12歳の時初めて飛行機に乗せてもらいます。空を飛ぶというこの時の体験がその後、彼にとって死ぬまで求めて止まぬ夢となったのでした。

兵役にて飛行士の免状、さらには軍の操縦士のライセンスも取得していた彼は1926年、定期郵便飛行の操縦士として働くこととなります。しかし常に死と隣り合わせの職業でリビア砂漠に墜落、3日間さまよったこともあったようで、その体験が後に『星の王子さま』の物語へとつながっていったのでした。

第二次世界大戦がはじまると偵察飛行部隊に所属し、過酷な戦場をくぐり抜けますが、休戦後はフランスを離れてアメリカに亡命。その後再び戦場に戻るのですが、ついに生きて帰ってくることはなかったのです。

『星の王子さま』は児童書という位置づけながら、冒頭にもあるように、かつて子どもだったすべての人々に捧げられた物語で、哲学的な要素を数多く含んでいます。日本では2005年に著作権が公有化されたことによって様々な翻訳本が出版され、また、昨年11月には映画化も。ぜひ、この機会にいちど読んでみませんか。



ふくちゃんのウインク

この冬、図書館では大量のカメムシが発生し駆除に追われました。カメムシが多い年は雪がよく降るといわれますが、例年になく暖かい日が多い冬だったように感じます。1、2、3月と駆け足のように日々が過ぎて行き、いよいよ4月。新年度のスタートです。そして春本番!植物は芽吹き虫たちも蠢きだします。外出する機会も増えてくる季節です。図書館では新しい旅行本を数多く取り揃え、みなさんのお出かけプランのサポートができればと思っています。上手に図書館をご活用ください。(け)

【こたえ】 I・・・① II・・・④
III・・・③ IV・・・② V・・・②

サン＝テグジュペリに関するクイズです。

- I. 美しい金髪であったことから何と呼ばれて可愛がられていたでしょう。
①太陽王 ②月華王 ③星雲王 ④輝麦王
- II. サン＝テグジュペリの作品でないものが一つだけあります。それはどれ?
①夜間飛行 ②人間の大地
③戦争か平和か ④異邦人
- III. サン＝テグジュペリと「星の王子さま」の像がある広場はどこ?
①コンコルド広場 ②バスティーユ広場
③ベルクール広場 ④ドゴール広場
- IV. 「星の王子さまミュージアム」がある場所は?
①熱海 ②箱根 ③軽井沢 ④那須高原
- V. 『星の王子さま』にでてくる不思議な巨木「バオバブ」。この巨木の並木道がある有名な場所は?
①ニューギニア島 ②マダガスカル島
③ボルネオ島 ④モーリシャス島
- 【こたえ】は左下にあるよ

【参考文献】 『星の王子さま 100分で名著ブックス』NHK出版社、『星の王子さま』が話してくれた世界一幸せになれる33の言葉 秀和システム、『星の王子さま』の誕生 創元社、『MOE 2013年5月号、2015年12月号』

H27年度 利用状況(2月末現在)

蔵書冊数: 158,752冊
多可: 119,146冊
加美: 20,832冊
八千代: 18,774冊

個人登録者数: 10,241人
総利用者数: 28,293人
多可: 19,976人
加美: 4,314人
八千代: 4,003人

総貸出冊数: 141,609冊
多可: 103,675冊
加美: 19,213冊
八千代: 18,721冊

貸出密度
(貸出冊数÷自治体人口): 6.4冊

「絵本の力」

旧八千代北小学校教諭

小寺 麻木

絵本の力はすごい。絵本の物語で一緒に笑ったり、次の展開にハラハラしたり……。読み聞かせは、先生と子ども、子どもと子ども・人と人との繋ぎ、温かい関係を育んでくれます。

昨年度は1年生の担任。入学式、『おきくなるっていいことは』(中川ひろたか・文/村上康成・絵)を読み聞かせ。緊張した顔つきの7人に『『おきくなるっていいことは』は一緒に言ってくれる。』と言うと、元気な声を出してくれます。服が小さくなる、高いところに登れる、そこから飛び降りていいか

考えられる、小さな人に優しくなれる、すべて大きくなるっていいこと……。共に絵本を楽しみ、心が温かくなる時間でした。読み聞かせが子ども達の緊張を和らげ、私と子ども達を繋いでくれました。

キッズランドの子達がもうすぐ小学校の体験入学にやってくるという日には、『ランドセルがやってきた』(中川ひろたか・文/村上康成・絵)を読みました。「ランドセルがやってきたとき、みんなどんなかんじやった?」隣同士で少し対話した後聞いてみると、「背負ってみてん。」「早く小学校で勉強したかった。」「おばあちゃんと一緒に買いに行つてん。」「私も!」と話が弾みます。物語を楽しみながら、互いのことを聞き合う。その表情はにこに

こしていて温かい。共感したり違いを認め合ったりすることで、子ども達の温かい関係が広がっていききました。

「さあどの本を読むかな?」と絵本を選ぶことは、私の楽しみになりました。カラフルな表紙にワクワクしながら、あの子が好きかなとページをめくっていると時間が経つのを忘れてしまいます。これだ!という一冊を見つけると、嬉しくなって職員室ですぐに報告。「この本おもしろかったんですよ。」「見せて見せて!」職員室でも繋がりができます。

絵本がもつ温かさ。それが、人をつながてくれるのかもしれない。絵本には、不思議な力があります。私は、これからも絵本がつかないでくれる温かい世界を広げていきたいです。



かるた会

1月9日(土)

毎年恒例の「かるた会」を開催し、小学4～6年生は百人一首に、小学3年生以下はいろはかるたに挑戦しました。

百人一首では、句が読み上げられると、上級者は勢いよく取り合いますが、初心者は札を探すのもなかなか。しかし、慣れてくると最後には熱戦を繰り広げていました。中にはもっと練習して来年も挑戦したいという参加者も！いろはかるたでは、読み上げられた札を一生懸命に探す子どもたち。同時に手を伸ばし、どちらも譲らずじゃんけんになるなど、みんな力が入った戦いを見せます。たくさんの札が取れると嬉しそうに笑顔を見せていました。



みどりこども園

1月14日(木)

みどりこども園の4歳児・5歳児、総勢40数名の子どもたちが元気いっぱい、図書館に来てくれました。おはなし会で読んだ絵本『じゅうにしのおはなし』では最後の干支のところになると「いのししやー」と言ったり、紙芝居も一緒に参加しながら聞いてくれました。

その後の貸出では決められた冊数を守って、上手に自分の好きな本を選び出していました。



「2016年本屋大賞」/ミネート10作品

大賞発表は4月12日です♪

売りたい本
いちばん！
2016年本屋大賞



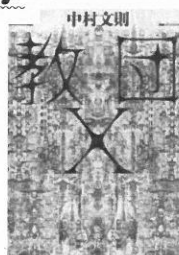
『朝が来る』
辻村深月／著
文藝春秋



『王とサーカス』
米澤穂信／著
東京創元社



『君の脾臓を
たべたい』
住野よる／著
双葉社



『教団X』
中村文則／著
集英社



『世界の果ての
こどもたち』
中脇初枝／著
講談社



『戦場のコックたち』
深緑野分／著
東京創元社



『永い言い訳』
西川美和／著
文藝春秋



『羊と鋼の森』
宮下奈都／著
文藝春秋



『火花』
又吉直樹／著
文藝春秋



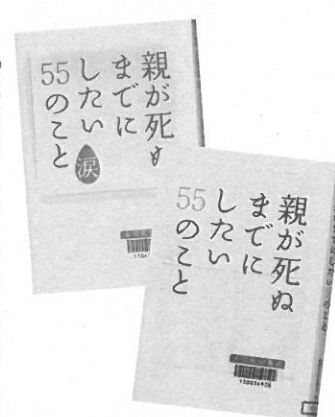
『流』
東山彰良／著
講談社

Book menu



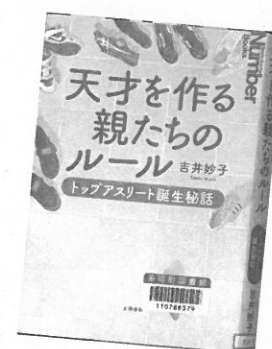
「親の死」はいつかは必ず訪れるのだということを普段から意識している人はいつたいたのくらいいるでしょうか。残された親との時間は限られています。仮にいま親が元気であったとしても、仕事で忙しく家でも顔を合わせる時間がなかったり、離れて暮らしていて会うのは年に数回程度という人もあるでしょう。また、親が元気なうちにしてあげたいと思うことはたくさんあっても、いつでも会えるのだからと思うとつい先延ばしにしてしまいがちです。

そんな限りある親との時間を有意義に過ごせたら、そう願って作られたのがこの本です。多くの人から寄せられたこれらの笑いあり涙ありの親孝行エピソードは、決して大層な親孝行ではありません。しかし、親が子と思う気持ち、子が親を思う気持ちがひしひしと伝わってきます。これらの体験談を読めば、あなたもきっと何かしてみたくなるはずです。(な)



『親が死ぬまでにしたい55のこと』
親孝行実行委員会／著
出版社：泰文堂
ジャンル：エッセイ
(914オ)

野球の大谷翔平、藤浪晋太郎、サッカーの宇佐美貴史、卓球の石川佳純、水泳の萩野公介、陸上の桐生祥秀、体操の白井健三、フィギュアスケートの宮原知子などは、若くして才能を開花させ、日本国内や世界で活躍する天才アスリートです。しかし、この本の著者は、彼ら彼女らを天才の一言で片づけるのではなく、天才児に育て上げた親たちの子育てに対する考え方や子どもとの接し方などに共通点や一定のルールがあるのではないかと考え、若いトップアスリート14人の家庭を訪問し、親たちから子育てについて取材しました。すると、時代が変わっても変わることのない普遍的なルールが見えてきたのです。この本は、トップアスリートの紹介本ではなく、賢く逞しく生きる子を育てる子育ての参考書です。(よ)



『天才を作る親たちのルール』
吉井妙子／著
出版社：文芸春秋
ジャンル：実用書
(379ヨ)

あわてんぼうのやぎくん、おちようし者のはりねずみくん、しつかり者のぞうくん。今日はみんなそろって山登りです。「はやくいこうよ」とみんなを急かすはりねずみくん。国で一番高い山に感心するぞうくん。やぎくんは心配で案内板を確認しています。

登山道は森だつたり、どこまでも続く草はらだつたり、さらにその先では岩の壁を登らなければならなかったりと、とっても大変です。でも、みんなで力を合わせて助け合いながら、頂上を目指しました。今日は、山の上で泊りますが、おや、やぎくんは何か大事なものが見つからないようです。(か)



『ポレポレやまのぼり』
たしろちさと／ぶん・え
出版社：大日本図書
ジャンル：絵本
(Eた)

『親が死ぬまでにしたい55のこと』

『天才を作る親たちのルール』
トップアスリート誕生秘話

『ポレポレやまのぼり』

図書館だより

発行 多可町図書館
〒679-1133
多可郡多可町中区糺屋 434-11
TEL 0795(32)5170
FAX 0795(32)5171
http://www.library.taka.hyogo.jp/

多可町と私のおつきあいは、兵庫県教育委員会が平成18年度に行った祭礼調査、「播磨の王の舞」に始まる。中世に起源を持つ祭礼芸能、王の舞が県内に10件ほど残されており、多可町には八千代区中村・貴船神社のリヨン、同区柳山寺・大歳神社の天狗の2件が伝承されている。貴船神社のリヨンはリヨンを担当した縁で多可町の年中行事調査や歴史街道推進協議会に加わることとなり、昨年度は多可町

「大人の役目」

播磨学研究所 植岡真弓

合併10周年記念誌『多可の里風土記』を執筆させていただいた。杉原紙の調査にも参加させていただいている。こうした活動の出発点は大学の史学科で学んだことだが、歴史と私を結びつけたのは亡くなった父だった。家は歴史の本が並び、家族旅行には大抵寺社仏閣巡りがセットされ、小学校6年生の夏休みの自由研究は父の勧めで「山陽道の古墳について」となった。その時から歴史の道に進もうと決めたというわけではないのだが、結局父が好きだった歴史を学ぶ史学科に進むことになり、今もその道を歩いている。その父が歴史と同じくらい愛したのが、本だった。每晚必ず一冊の本を、

その多くは岩波新書だったが、寝床に持参し、読了してから寝るのが習慣だった。さまざまな本が並ぶ本棚が身近な風景であることは、子どもにとって幸せなことだろう。それだけでなく、父は幼い私に子供が会おう初めての本、絵本を手渡してくれた。その後も、年齢に合った本を手渡し続けてくれた。文学少女になったというわけではないが、大人になった私は自分の子どもたちに絵本を読み聞かせ、今も姫路の図書館を中心に子どもと本との橋渡しをする活動に加わっている。歴史と本、その種を蒔いてくれたのは父だった。子どもに種を蒔くのは、大人の大切な役目だと思う。



こと は 言の葉だより

没後100年 心を書こうとした作家
夏目漱石 編

夏目漱石【本名夏目金之助】は1867(慶応3)年、江戸牛込に父夏目小兵衛直克、母ちゑの五男三女の末子として誕生しました。幼くして養子に出され不遇な少年時代を過ごしましたが、早くから漢学や英語に親しみ、成績も秀でていました。東京帝国大学英文科を首席で卒業、大学院に在籍しながら高等師範での教職を得ますが、神経衰弱のためこれを突然に辞職、親友正岡子規の故郷である愛媛県松山へ向かいます。旧制松山中学に英語教師として赴任し1年、そこから熊本県の第五高等学校講師として赴任し約4年を過ごしたのです。松山では同居した子規と頻繁に句会を開いては創作を楽しみ、熊本滞在中には鏡子夫人と結婚、長女が誕生しています。

1900(明治33)年、英語教育研究のため、文部省より英国留学を命じられ渡航しますが、のちに『ロンドンに住み暮らしたる二年はもつとも不愉快の二年なり。余は英国紳士の間にあって狼軍に伍する一匹のむく犬のごとく、あわれなる生活を営みたり』と振り返るような、劣等感や孤独感にさいなまれ、酷い神経衰弱に陥ってしまいます。

帰国後、東京帝国大学英文科講師となりますが、講義と文学論研究による無理がたたり症状は悪化します。そんなとき、気分転換にと勧められ書いた小説『吾輩は猫である』を俳句雑誌『ホトトギス』に発表、好評を博します。大学講師という安定した地位を捨て職業作家になる決断をしたのが、漱石40歳の時。以後、旺盛な創作エネルギーは溢れ出し、未完の遺作となる『明暗』を執筆中の1916(大正5)年に49歳で世を去るまでに、『草枕』『三四郎』『門』『彼岸過迄』『ころ』『道草』などあまたの作品を発表しました。生涯の大半を神経と胃の病に悩まされながら、人間の心の奥底を描き、時代に流されることなく自分に正直であることを説いた漱石。没後100年にあたる今年、作品はもちろん、様々な書籍を通して漱石そのひともふれてみたいものです。

【こたえ】 I・・・③ II・・・①
III・・・③ IV・・・② V・・・③

私は死ぬ前にたつたひとりで好から、他を信用して死にたいと思つてゐる。あなたは其のたつた一人になれますか。なつて呉れますか。あなたは腹の底から真面目ですか。

— 『ころ』より —

夏目漱石に関するクイズです。

- I. 東京帝大英文科での漱石の講義は堅苦しく学生に不評だったようです。では学生に人気があったという前任者は誰?
①森鷗外 ②上田敏 ③小泉八雲 ④坪内逍遙
- II. 漱石が25歳のとき英訳したのは?
①方丈記 ②徒然草 ③奥の細道 ④浮雲
- III. 「The Three Cornered World (三角の世界)」というタイトルで英訳された小説は?
①道草 ②三四郎 ③草枕 ④彼岸過迄
- IV. 『吾輩は猫である』を、はじめ漱石は何というタイトルにしようと考えていたでしょう?
①猫譚 ②猫伝 ③猫説 ④猫話
- V. 漱石山房と呼ばれる家に集った門人たちが、面会をある曜日の午後にと決めたことから、この集まりは何とよばれたでしょう?
①月曜会 ②水曜会 ③木曜会 ④土曜会

【こたえ】は左下にあるよ

【参考文献】

『漱石の思い出』夏目鏡子述 松岡譲筆録／文藝春秋
『夏目漱石という生き方』別冊宝島／宝島社



ふくちゃんのウインク

Stargazing

7月、宵の南の空では、天の川にしっぽを浸した大きなさそり座のS字カーブが目を引き、この星座の1等星アンタレスと並んで火星、土星が明るく見えます。天の川を頭上へたどっていくと、その両側に七夕でおなじみの織女星と牽牛星がまたたいています。

また夏休みは流れ星が多く見られる季節です。8月初旬の南の空では、この頃をピークにやぎ座やみずがめ座流星群が、8月12～13日頃には北の空でペルセウス座流星群が活発な出現を見せてくれます。満点の星を見上げ、遠く距離を隔てた輝きに思いを馳せ、流れる星に願いの言葉をつぶやく、そんな夕涼みはいかがでしょう。



特別おはなし会

5月14日(土)

4/23~5/12は「こどもの読書週間」でした。毎年、この期間に児童書のおすすめ図書の展示やおはなし会を行っています。5月14日には特別おはなし会を開催し、子どもたちは、パネルシアターや手遊びを楽しみました。最後に、今年の標語「四角い本に まあるい心」にちなんで、手作りのハードカバー仕立ての自由帳をプレゼントしました。



トライやる・ウィーク

6月8日~12日

今年は4名の中学生が図書館業務を体験しました。貸出・返却業務はもちろん、汚れた本をきれいに拭いたり、フィルムカバーを貼ったりと、日ごろ目にするものの少ない業務など、積極的に取り組んでくれました。



◀今年も図書館だよりのロゴを書いてくれました。



中町南小学校1年生

4月15日(金)

中町南小学校の1年生が図書館にきてくれました。クラスごとにおはなし会を開催。みんな楽しそうに聞いていました。おはなし会のあとは、それぞれに好きな本を選んで、友達と読んだり、一人でじっくり読んだり、思い思いに楽しんでいました。

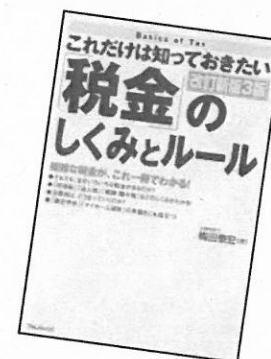


Book menu



ヴィルヘルム・ハウフ/著

出版社:河出書房新社
ジャンル:小説
(943/ハ)



梅田泰宏/著

出版社:フォレスト出版
ジャンル:実用書
(345ウ)



松村由利子/ぶん
ジョン・シェリー/え
出版社:福音館書店
ジャンル:絵本(ETシ)

見渡す限り空と砂しかない砂漠を、大きな隊商が旅していました。そこへふいに現れたのは見事なアラビア馬にのった立派な身なりの男、セリム・バルーフでした。単調な長旅に退屈していた5人の商人たちは、野営地ごとに一人ずつ話をすると、という彼の提案を受け入れます。まず、セリムによって語られる『このとりのカリフの物語』は、魔法によってこのとりのカリフの人間に戻る言葉を忘れてしまったカリフと大臣の軽妙なやりとりも愉快な物語です。次に老商人アクメットが若いころの体験として語るのは、夜ごと船上に繰り広げられる死者たちの阿鼻叫喚、『ゆうれい船の話』です。こうして次々と商人たちによって恐ろしい話、不思議な話が語られます。そして長かった旅が終わりになったとき、謎の男セリム・バルーフが誰なのか、その正体も明かされます。(り)

毎日の生活から人生の節目まで、税金というものはわたしたちの生活に密着しています。そんな税金ですが、意外にわからないことが多いのではないのでしょうか。例えば個人が納める所得税や住民税は、基本的には1年間(1月1日~12月31日)の所得と、そこから差し引く所得控除によって決まっています。しかし、実際にどのような計算で税額が算出されているかまではご存じない方も多いのではないのでしょうか。この本では、個人に関わる税だけでなく、会社に関する税、遺産相続や贈与に関わる税まで、複雑な税が一冊でわかるようまとめられています。何気なく支払っている税金ですが、どんな税金があり、今後税制がどう変わっていくのか知っておくと有意義かもしれませんね。(さ)

「あつ、お星さま!」日曜日の夕方、せんたくものをとりこんでいたはるかは、西の空に、ぴかりと光るものを見つけてきました。そして、うれしくなって「いちばんぼーし、みつけた」とうたっていました。ばんごはんのあと、弟のじゅんとベランダでさつきちゃんのいちばん星をさがしましたが、いくつも星がでていて、どれがどれかわかりません。そこへ、お父さんがでてきて、「星はいつも光っているけれど、昼間はまわりがあかるくてみえないんだ。太陽がしずんばんにみえてくるんだよ」とおしえてくれました。つぎの日の夜から、はるかの夜空の星たちをおいかけの旅がはじまりました。(ゆ)

第13回 多可町図書館まつり

本と人、
出会いがいっぱい

今年もたくさんの方にご来館
いただきました。ありがとうございました。



講演会「多可の里をめぐって」

スライムを
つくろう
ピヨ〜ンと伸びて
不思議な感触

リサイクル広場
お気に入りの本は、見つかりましたか



ブックフィルムカバー講座
大切な本がきれいに保存できます

カード作り教室
ひばると色がつく
ミラクルカード



おはなし会
エプロンシアターに
かみしばいなど

カッコいいカード
ができたよ

ミニ縁日
毎年人気のミニ縁日。輪投げと、
ヨーヨー釣りを楽しむ子どもたち

布絵本の
展示

ヨーヨー
釣れたよ!

輪投げに挑戦

図書館だより

発行 多可町図書館
〒679-1133
多可郡多可町中区靴屋 434-11
TEL 0795(32)5170
FAX 0795(32)5171
http://www.library.taka.hyogo.jp/

ことは
言の葉だより

生誕150年
SFの父 H. G. ウェルズ 編

『人類は共通の起源および運命を有するものだ』
『人間の理想的な運命は、全地球上の平等と一致
とに向かっているのである』

— 『世界文化史概観 下巻』より —

「心の種が芽吹くとき」

多可町図書館 木俣幸雄

小学校5年生のことでした。それまで入ったことのなかった図書室の掃除が終わった後、たまたま目にとまった「シャーロック・ホームズの冒険」を私は手にとり、立ち読みを始めました。そこには事件の謎を解き明かすホームズの推理や医師ワトソンとの活躍、ミステリー性の高いストーリーが描かれていて、“次はどうなるのか、もっ



と読みたい…」と、私の心をわくわくさせました。当然、その本を借り、本腰を入れてコナン・ドイルの名作を読み耽りました。私の心にまかれていた種が芽吹いたのです。でも、種はいつ、どうやってまかれたのか…。

私は小学校4年生から3年間新聞配達をしていました。配達中、否応なしに各紙1面が目に入ります。子どもの新聞配達です。のんびりと紙面を読みながら配っていたのですが、やがて配達が終わった後も、自宅の新聞を第1面から精読するように変わっていきました。当時は、アメリカと北ベトナム

の、いわゆるベトナム戦争が始まった時期で、その状況が毎日報道されていました。ハノイ、サイゴン、トンキン湾にベトナム、そして、B29爆撃機にナパーム弾、ミグ戦闘機、ホー・チ・ミン大統領…。報道を読みながら、遠いベトナムの地に思いを馳せたことを今でも覚えています。

新聞配達はつらいときもありましたが、報道を“読むこと”がとても好きになり、やがてそれが、文学との出会いへと導いてくれたのでしょう。新聞配達が、そして新聞が、私の心に種をまいてくれたのだと感謝しています。

ハーバート・ジョージ・ウェルズは、1866年、ロンドン近郊のケント州ブルムリーの貧しい商家に生まれました。8歳から十三歳まで商業学校に通ったのち、徒弟奉公に出され、服地屋や薬屋などを転々しました。苦学して奨学金のテストに合格し、科学師範学校(現インペリアル・カレッジ)に入学、ここで生物学、物理学、化学、地質学、天文学といった科学を学びます。このとき、チャールズ・ダーウィンの『進化論』に深く影響を受け、それはウェルズの一生の考え方を決定づける大きな出来事となります。

1895年に刊行された初めての小説『タイムマシン』は人が時間旅行をするという斬新な発想によって大成功します。その後、『モロー博士の島』『透明人間』『宇宙戦争』と類を見ない空想力を発揮した作品を発表します。こうした空想科学小説だけでなく、ウェルズは科学技術の進歩による破壊的な社会の変化を予見した著作を多く残しています。戦争の惨禍をなくすために単一の『世界国家』の実現を提唱し続けたウェルズは、人類の未来を悲観し、人類を滅亡から救うことが自分の使命であるとの考えを生涯持ち続けたのです。

現在まで、地球外生命の侵略、地球の危機、時間旅行など、SF映画やSFアニメでウェルズの影響を受けていないものはないといわれます。SFという言葉もなかった100年以上前に、だれも考え付かなかった発想で作品を生み出した、ウェルズはまさに『SFの父』なのです。

図書館にあるウェルズの本の紹介



【こたえ】 I・・・② II・・・③
III・・・④ IV・・・① V・・・③

ウェルズの作品に関するクイズです。

- I. 『宇宙戦争』で地球に攻めてきたのは?
①水星人 ②火星入
③木星人 ④おとめ座β星人
- II. 『タイムマシン』の主人公が訪れたのは?
①50年後 ②100年後
③80万年後 ④1億年後
- III. 『モロー博士の島』で博士が造っていたのは?
①原子爆弾 ②タイムマシン
③透明人間 ④動物人間
- IV. 『月世界最初の人』で月人に捕らわれた主人公たちが手足を縛られた鎖の素材は?
①金 ②石英 ③トパーズ ④ダイヤモンド
- V. 次の映像化された作品の中で、ウェルズの原作によるものは?
①素晴らしい新世界 ②アイロボット
③来るべき世界 ④2001年宇宙の旅

【こたえ】は左下にあるよ

【参考文献】

『世界文化史概観 上下巻』
『世界史概観 上下巻』
『解放された世界』以上 H.G. ウェルズ著／岩波書店
『ウェルズSF傑作集1、2』H.G. ウェルズ著／東京創元社



ふくちゃんのウインク

図書館だよりの編集で遅くなってしまったとき、外から「ドン・ドン」と太鼓の音が聞こえてきました。秋祭りの練習をされている音です。この太鼓の音を聞くと、なんだかワクワクしてきますね。

さて、図書館では、新着図書の案内をメールでお届けするサービスを行っています。ご自身の気になるキーワードを登録すると、それに関連するタイトルの一覧をメールで配信します。メールは毎週お送りしていますので、ぜひ登録して最新の情報をチェックしてください。詳しくはホームページでご確認いただくか、直接図書館でお尋ねください。



おはなし隊 キャラバンカー

8月6日(土)

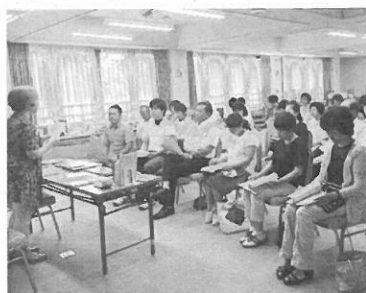
講談社のおはなし隊キャラバンカーが、絵本をたくさん載せて多可町図書館へやってきました。この日は40組の親子が参加。キャラバンカーに並ぶ約550冊の絵本の中から好きな本を選び、親子で楽しみました。また、この後にはおはなし会も開催され、子どもたちは紙芝居や絵本の物語の世界に夢中になっていました。



子どもの心に種をまく

8月17日(水)

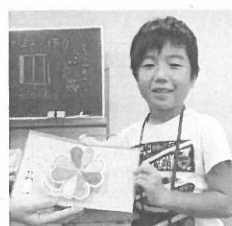
講師に小栗栖真弓先生を招いて、読み聞かせの講座を開催し、学校の先生や読み聞かせのボランティアのメンバーなど32名が参加しました。子どもたちに豊かな心の体験をもたらしてくれる絵本。そんな絵本の選び方から、読み聞かせの時の絵本の持ち方や読み方についてなど、充実した内容の説明を、受講者たちは「なるほど」といった表情で受け止めていました。



とびだす絵本

8月17日(水)・18日(金)

夏休みの子供たちが挑戦する今年の夏チャレは、「とびだす絵本づくり」。20人が参加しました。



毎年お世話になっている村上祐喜子先生の指導のもと、2日間の日程で、子どもたちはいろいろなアイデアを出しながら、作り上げていきました。完成した絵本をみんなの前で発表するときは、照れくさそうにしていたのですが、最後には、満足そうな表情を浮かべていました。



ビブリンピック

7月21日~8月31日

今年も恒例の「ビブリンピック」を実施しました。これは小学生を対象に“本を読んで10問のクイズに答える挑戦”と“夏休み中に50冊読破”の2つにチャレンジする夏休み企画。今年は162名が挑戦しました。

10問のクイズでは、問題が解けるごとに答え合わせのためにカウンターへ往復する子どもたち。正解すると思わず「よっしゃあ！」とガッツポーズが出たりも！全問正解者は33名でした。また、夏休み中に50冊を読むのは、なかなか大変だったと思いますが、23名が読破しました。こういった機会に子どもたちはどんどん本と触れ合ってほしいですね。



杉原谷小3年生

7月7日(木)

杉原谷小学校の3年生が町内の施設めぐりの一環で図書館にきてくれました。木俣館長から図書館の役割についてなどの説明を聞くと、真剣な表情でノートをとる児童たち。質問時間には、まっすぐに手を挙げ、たくさんの質問がでました。その後は、図書館を見学し、そして思い思いの本を読んで楽しみました。



本の帯を作成

7月21日~8月31日

杉原谷小学校の5年生が、本を紹介する帯を作ってくれました。それぞれお気に入りの本を選び、楽しさを伝えようとキャッチフレーズを考えたり、色使いやイラストを工夫して描いたり、試行錯誤した様子が見ええます。これらの帯を図書館の本にセットして、夏休みの間展示を行いました。



就業体験

7月27日~29日

多可高校の生徒1名が図書館業務を体験しました。

書架の整頓、新聞整理、新刊本の棚出し、そしてカウンターでの貸出・返却業務など、どれも真剣に取り組んでくれました。この体験を通して社会の一員として仕事に取り組むことへの理解を深め、これからの進路目標に役立ててもらいたいですね。



Book menu



七尾与史/著

出版社:小学館
ジャンル:小説
(Fナナ)



常光 徹/著

出版社:河出書房
ジャンル:実用書
(382ツ)



濱野京子/著

出版社:講談社
ジャンル:児童読み物
(K913ハ)

“縁”とは偶然でもなんでもなく、実は仕組みられたものではないか？と、考えずにはおられません。仕組まれていたのか偶然か、就活に行き詰っていた水氷里美が、「オフィス油炭」という会社の求人広告を見つけます。すぐる思いで連絡を入れると、面接場所に指定されたのは、なんとパチンコ屋でした。しかし、面接はすつぽかされ、挙句、その店の従業員堀内栄子から、彼女のマンションの隣人「大場可南子」に間違えられ、いわれのない猛抗議を受けます。その原因が面接時に付けるように指定されたヒマワリのリボンだったのですが、それは「オフィス油炭」の社長油炭寿文が仕組んだ就職試験のための小道具だったのです。

この本では暮らしの中で、当たり前のように見聞きしている身近な事柄について、どうしてそう言われてきたのかなど、背後にあるものを民俗学の観点から探っています。例えば「食べ物を箸と箸で挟み合っているはいけない」とは、よく聞きますね。これは、この行為がみつともないからではなく、2人が同時にひとつのものを挟む状態を忌むところからきたのではと筆者は考察しています。昔から2つ事柄が同時に起こることを避けてきました。これは、どちらかに勝ち負けが発生し、負けたほうに死や病気を連想させるからです。このほかにも「夜、爪を切つてはいけない」の言い伝えは中国にもあるなど、生活に密着した話題に触れています。あなたも、四季折々の民族学の魅力を感じてみませんか。(か)

東京から遠く離れた山奥にある峯川小学校に、1年限定で転校してきた立石美奈。1学期を終えたら絶対に東京の学校に転校する！そう心に決めていました。しかし、夏休みを終え、美奈は再び峯川村に戻ってきたのです。大好きなコンビニも、不便な村に戻ってきたのは、木工芸家のデンさんとの出会いがあったからでした。週に2回、デンさんの工房に通い、ノミ、糸ノコ等の工具を使い、失敗しながらも作品を作っていきます。そうやって木と触れ合っていくうちに、美奈は東京にない、峯川村の魅力に気づきます。青が濃く星のきれいな夜空、手入れの行き届いた山、そして何より、大きくて温かい、デンさんの手が大好きだったのです。(さ)

『偶然屋』

『折々の民俗学』

『木工少女』

図書館だより

発行 多可町図書館
〒679-1133
多可郡多可町中区糀屋 434-11
TEL 0795(32)5170
FAX 0795(32)5171
http://www.library.taka.hyogo.jp/

私は、近年電車に乗ることが多くありますが、4・5年前に比べ、最近の車内の状況が違ってきています。数年前までは、まだ車内で窮屈そうにして新聞を読む姿や、文庫本を読む乗客が多くありました。ところが最近ではめっきり少なくなりました。私がサラリーマンをしていた40年前などは多くの乗客が新聞、文庫本、週刊誌などを読んでいました。

「最近の読書事情」

萬浪佳隆

今や活字離れの時代と言われています。電車内で読書しているのは高校生や大学生と、ほんの数人の乗客しかいません。そして学生のなかでも、ほとんどが女子です。ニュースを見たい、本を読みたいと思うとスマートフォンで事が足りる時代になっています。ところで、リアル書店(実店舗)とネット書店の問題が最近話題になっていますが、リアル書店で現物を見て、その場でネット書店で購入という笑い話のような現実も多々あるように聞いています。

書籍は文化、書籍を取り扱う書店や図書館も文化です。いろんな本が視野に入ってくる図書館で好みの本に出会った時の幸せ感や本を手にとってその本の世界に入り込んだ時の陶酔感は電子媒体にはない魅力だと思います。また、図書館では司書が薦めたい本をその性別や年代に合わせて紹介もしてくれます。もし、あなたが悩んでいるときや自分に必要な本が見つからないとき、図書館へ行ってみてください。きっと司書が水先案内をしてくれるでしょう。



ことばの葉だより

生誕150年

ローラ・インガルス・ワイルダー 編

力強く優しく、どんな困難にみまわれても決して屈しない父さん、その父さんとともに、一家の中心となって働くあたたかいところをもつ母さん。そんな両親の生き方を見習いながら、大自然に囲まれた質素な生活のなかですくすくと育っていく娘たち。『大草原の小さな家』シリーズは、ローラ・インガルス・ワイルダーが、自身の少女時代の体験、西部開拓者であった一家の歴史を綴った物語です。

ローラは1867年、アメリカのウィスコンシン州ペピンで誕生しました。開拓時代を大草原の各地で過ごし、その思い出を65歳になってから、9冊の本に書きあらわしました。その舞台は、ローラが5歳だった第一巻『大きな森の小さな家』のウィスコンシンから、カンザス州の先住民居留地、ミネソタ州ウォルナットグローブ、サウスダコタ州のシルバー湖畔、さらにデスメットの町へ。ここでアルマンゾ・ワイルダーと結婚し、第九巻『はじめての四年間』を経て、最後の土地、ミズーリ州マンスフィールドへと移っていきます。ここにロッキリーッジ農場を開き、夫妻は生涯を過ごします。ローラは言っています。「わたしは、開拓地帯のすべてを見てきました。森、大草原のインディアンの土地、辺境の町での鉄道敷設。土地が開拓され、農地になり、町ができるまでを」

ローラの新天地を求める長い旅。何もなかったところに自分たちで家建て、拓いた大地に日々の糧を育て、パンを焼く。狩りの獲物や大切に育てた家畜で燻製を作る。家族のためにささやかなクリスマスプレゼントを用意し、夜には暖炉を囲んで歌う。ローラの物語は、毎日の丁寧な暮らしがやがて人生を創り、その中に楽しさを見出すことが大事ですよと教えてくれるのです。



ふくちゃんのウインク

昨年8月から雑誌コーナーに新しく「日経ビジネス」が入っています。日経ビジネスは、毎号注目すべき企業・人物への取材のもと、実践に役立つ情報が掲載されています。第一線で活躍する方におすすめの雑誌です。この他にも、さまざまなジャンルの雑誌がありますので、ぜひ図書館に足を運んで情報収集の一つとして役立ててください。



ローラに関するクイズです。

- I. ローラの子ども時代(1885年以前)にあったのは?
①コココーラ ②コーンフレーク
③チューイングガム ④ピーナツバター
- II. 『大きな森の小さな家』の豚の解体の場面で、ローラと姉のメアリーは、豚のどの部分をもらって遊んだでしょう?
①足 ②膀胱 ③尻尾 ④鼻
- III. ローラのウエディングドレスは何色だったでしょう?
①白色 ②生成り色
③ブルーの花模様 ④黒色
- IV. ローラが亡くなった時の年齢は?
①70歳 ②80歳 ③90歳 ④100歳
- V. マンスフィールドのワイルダー博物館に保存されている父さん愛用の楽器は?
①オルガン ②ヴァイオリン
③ギター ④トランペット

【参考文献】

『ローラの思い出アルバム』ウィリアム・アンダーソン編(岩波書店)、『大草原の小さな家のダイアリー』バーバラ・ウォーカー編(文化出版局)、『大草原の小さな家 ローラのふるさとを訪ねて』ウィリアム・アンダーソン著(求龍堂)

シリーズ 全9冊

- 大きな森の小さな家
- 大草原の小さな家
- プラム・クリークの土手で
- シルバー・レイクの岸辺で
- 農場の少年
- 長い冬
- 大草原の小さな町
- この楽しい日々
- はじめての四年間



【こたえ】 I・③ II・②
III・④ IV・③ V・②



就業体験

11月9日~11日

北はりま特別支援学校高等部の生徒1名が図書館業務を体験しました。書架の整頓、新聞整理、新刊本の棚出し、そしてカウンターでの貸出・返却業務など、どれも真剣に取り組んでくれました。



この体験を通して社会の一員として仕事に取り組むことへの理解を深め、これからの進路目標に役立ててもらいたいですね。

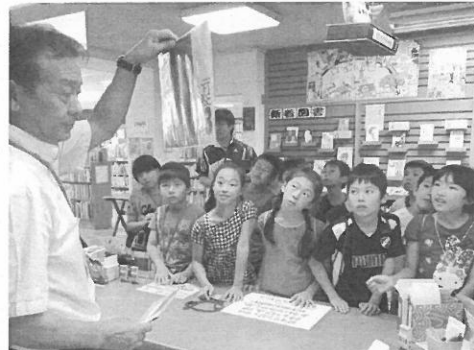


多可町図書館で2016年中に貸出回数が多かった本

- | | |
|------------------------------|-----|
| 1. 人魚の眠る家 (東野圭吾) | 39回 |
| 2. 羊と鋼の森 (宮下奈都) | 35回 |
| 3. 天才 (石原慎太郎) | 29回 |
| 4. 火花 (又吉直樹) | 27回 |
| 5. 鹿の王 上 (上橋菜穂子) | 25回 |
| 5. ラプラスの魔女 (東野圭吾) | 25回 |
| 5. リバース (湊かなえ) | 25回 |
| 8. 虚ろな十字架 (東野圭吾) | 24回 |
| 8. 鹿の王 下 (上橋菜穂子) | 24回 |
| 10. 祈りの幕が下りる時 (東野圭吾) | 23回 |
| 10. 激安食品が30年後の日本を滅ぼす! (河岸宏和) | 23回 |
| 10. 文章添削の教科書 (渡辺知明) | 23回 |

図書館見学

10月6日に松井小学校の3年生が、11月30日・12月1日にはキッズランドかみの園児たちが来館しました。木俣館長の説明を聞きながら、館内を見学したあと、おはなし会を楽しむ子どもたち。最後には、それぞれが好きな本を選び、借りて帰りました。



新しい挑戦!!

新しい年が始まりました。「今年こそ何かに挑戦したい!」と
思っている方、こんな本はいかがですか。



Book menu

『市立ノアの方舟』



佐藤青南／著
出版社:祥伝社
ジャンル:小説
(Fサト)

大事業を任されていた企画部から、赤字経営で野市財政のお荷物とされている動物園に園長としてやってきた職員健吾。就任当日、とても自分が歓迎されている雰囲気ではないことを悟ります。それもそのはず、素人同然で、現場を見ようともしなかった歴代園長達と職員達の間には、大きな溝があったのでした。予想外の人事に目標を失いかけていた職員でしたが、野市動物園のアジアゾウ「ノッコ」との出会いをきっかけに、動物園の再建を決めます。特定の時間だけ不機嫌になる「ノッコ」、常同行動を繰り返すホッキョクグマ「ネーヴェ」、動物だけでなく、その動物を担当する飼育員とも向き合いながら、職員は問題を一つずつ解決していきます。そんな中、某有名TV局から動物園に、取材を申し込むメールが届きます。まさかの出来事に盛り上がる職員たちでしたが、職員は市立『野市』の方舟の船頭として、迫りくる難題という荒波を乗り越える事が出来るのでしょうか。(七)

『林修の仕事原論』



林修／著
出版社:青春出版社
ジャンル:実用書
(159/ハ)

題名の「仕事原論」のとおり、仕事って何でしょう?と問い、仕事の意味や意義について著者らしい理路のすっきりした表現で述べています。だから、分かり易い。さて、仕事って何でしょう?労働の対価としてのお金をかせぐ手段の一つですか?勿論それも大いにありますが、それだけでしょいか。
「いつやるか?今でしょ!」をきっかけに予備校講師という領域からタレントの領域に足を踏み入れた著者であることは有名ですが、それにより著者が得たものは収入だけではなく、領域、つまり仕事の幅の広がりが著者自身の「仕事への考え方の広がり」をももたらしてくれたようです。
明日の仕事へのモチベーションを高めてくれること請け合いの著者渾身のメッセージです。(ゆ)

『見習い職人フラピッチの旅』



イワナ・ブルリッチ=マジュラニッチ／作
出版社:小峰書店
ジャンル:児童読み物
(K989フ)

小鳥のように陽気なフラピッチは靴屋さんの小さな見習い職人。フラピッチの働く店のムルコニヤ親方は、おそろしい人で、いつもフラピッチをのしり、どなりつけるのでした。ある真夜中、なにもかもがぐっすり眠っているころ、フラピッチは起きだし、こっそり仕事場に入って旅の準備をはじめました。緑のズボンと赤いシャツ、すてきなブーツに輝く帽子、それに、肩にかけた赤いカバン!「さあ逃げろ、できるだけ早く!」と心の中で叫び、親方から逃げるために旅に出たフラピッチ。途中、予想もしなかったような体験をし、苦難を乗り越えていきます。クローチアでは子どもから大人にまで愛されている物語。さあ、あなたも、フラピッチの旅と一緒に体験してみませんか。(か)